

大和合金グループ

非鉄金属

三芳工場にNC旋盤増設

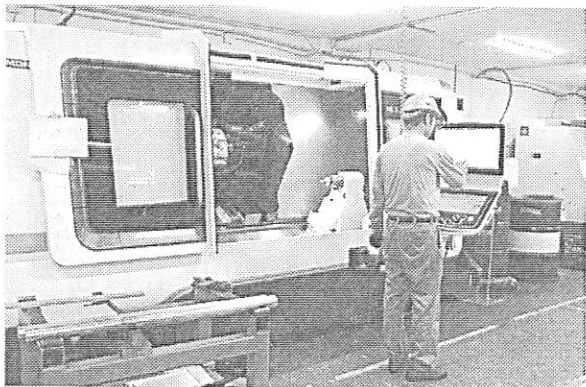
航空機・自動車向け、納期対応強化

銅合金の鑄造・鍛造品メーカーである大和合金(本社・東京都板橋区、社長・萩野源次郎氏)グループはこのほど、埼玉県三芳町の三芳工場でNC旋盤を2台増設した。航空機や自動車関連の加工が現在繁忙。その中で能力を高めることで、急な需要増にもスムーズな納期対応を可能にする。投資金額は数千万円。大和合金グループのNC旋盤は6台体制となった。

同社では旋盤で自動ア向けの円筒形の鍛造車向けには溶接電極向・押出品を加工しているの円盤を、航空機関連ではランディングギア

たが、今年6月と7月三芳合金工業の検査工程のものとなっている。6月に増設したNC旋盤は同工場内に設

7月に導入したNC旋盤は長い素材の加工の捕捉を目指す方針。



増設したNC旋盤

やすこと、繁忙時に一人の社員が複数の設備を操作できる体制を構築。生産効率を高める。三芳工場では昨年にもNC旋盤を2基増やしてい

が可能なタイプ。約1

層の素材を切削加工で

できることが特徴となっ

ている。萩野社長は

「仕事の繁忙にこれま

で以上に効率的に対応

できるよう、設備投資

を進めてきた」と話し

ている。今後は国内に

加えアジアや欧州で、

自動車や航空機関連市場

の捕捉を目指す方針。